

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	くものいえ		
○保護者評価実施期間	2024年9月1日		～ 2024年9月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2024年9月21日		～ 2024年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年11月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまの特性に合わせた、オーダーメイドの支援プログラムを作成しております。	丁寧に保護者の皆さまのご意向を伺い、お子さまの様子や状況を把握できるよう努めております。また、常にお子さまの発達段階や興味関心を意識した、一人ひとりの活動プログラムを作成しております。	すべての職員が日々研鑽を重ね、活動プログラムが固定化されないよう工夫するとともに、個別支援計画に沿った適切な療育が行えるよう努めて参ります。
2	個別療育や集団療育に特化した室内及び生活環境になっております。	施設内はお子さまの注意集中のため飾り付け等はせず、極力シンプルなお部屋の少ない環境で運営しております。	今後はパーテーション等も取り入れ、お子さまにわかりやすく視覚的に提示し、構造化された環境が設定できるよう努めて参ります。
3	モニタールームを設置し、お子さまの支援の様子をご覧いただけるとともに、フィードバックの時間に振り返りを行い、保護者の皆さまへ共有をさせていただいております。	モニターでのお子様の表情や状況をご覧いただいていることで、フィードバックの時間では、お子さまの発達の状況について共通理解が持てるよう努めております。	提供した支援内容を具体的に分かりやすくご説明させていただきます。また、家族支援等の保護者支援も強化し、保護者の皆さまのお気持ちに寄り添っていただけるよう努めて参ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の様子を更に発信できる場を増やしていく。	現時点でHPやブログで事業所内の取組の様子発信をしております、より明確に発信することでくものいえを認知していただく。	来年度より幅広い情報発信ツールを活用することで、事業所の取組や各種イベント等の様子を発信していく。
2	安全計画に沿った取組に対する保護者との共有を深める。	安全計画についての周知は行っているが、実際にお子さまや保護者の皆さまに、訓練の参加や体験をしていただく機会が少ない。	安全計画に沿って定期的な訓練を行っていることを事業所内の掲示板で周知を行うとともに、お子さまや保護者の皆さまへ訓練の参加や体験をしていただき、安心して通所していただけるようにしていく。
3	保護者同士の交流及び地域交流の機会を増やしていく。	保護者の皆さまの中には交流会参加への意見が分かれているため、個別療育の中で、どのように保護者の皆さまへ交流の機会を設けることができるか検討していく。	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の提供や育児相談会等のイベントを通じて、事業所の行事に地域の皆さまをご招待するとともに、多くの地域住民の皆さまへくものいえの良さを知っていただけるよう努めていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	くものいえ				公表日	2024年11月29日		
					利用児童数	2024年9月20日	回収数 11	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11					・お子さまの特性に配慮しながら、個別ブースでは落ち着いて取り組める環境を設置したり、広いスペースでは、個人の時間に合わせ粗大運動を行ったりする等、法令を遵守したスペースを確保しております。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8			3	・基準がわからないので判断できません。	・定められた人数を配置しております。 ・職員配置等については、今後も可能な限り努めて参ります。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1				・施設内はお子さまの注意集中のため飾り付け等はせず、極力シンプルな内装や刺激の少ない環境で運営しております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11					・毎日の清掃、消毒、換気や空気清浄機を活用する等、環境衛生に気を付けております。 ・今後も清潔を保ち、皆さまが過ごしやすい環境を引き続き継続して参ります。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	1		1	・本人の課題に対して適切な難易度かは不明です。 ・知識不足のスタッフがいるように感じます。	・当施設では様々な資格を持った職員が日々研鑽を重ねております。提供した支援内容を具体的に分かりやすくご説明できるよう努めて参ります。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11					・公表する支援プログラムに沿って支援を提供しております。	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11					・アセスメントをもとに、すべての職員がモニタリング会議に参加し情報共有に努めております。お子さまの特性や必要な課題について、適宜見直し支援計画に反映させております。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8				2	・支援は問題ないが、細かい項目が不明です。	・必要な項目を選択し支援を提供しております。提供した支援内容を具体的に分かりやすくご説明できるよう努めて参ります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11						・アセスメントをもとに長期目標・短期目標・支援内容を確認し支援を行っております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	1			1		・常にお子さまの発達段階や興味関心を意識して活動プログラムを作成しており、方向性については個別支援計画に沿った内容で統一して行っております。
11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	4	2	4		1	・交流がなくても問題無いです。	・地域交流については、限られた支援時間の中で実施が難しいことから、現段階で利用者さま全員に画一的に実施することはしていません。	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					・運営規程、利用者負担額について、契約時に重要事項説明書とともに丁寧に説明できるよう努めております。提供する支援プログラムについては、支援終了後に保護者の皆さまへフィードバックの時間を設けております。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11					・個別支援計画書の交付時に、目標及び支援内容等の説明をしており、ご了承いただいた後にサインをいただいております。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	3	3	3	3	・実施されていません。	・家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の提供を今年度から実施する計画を立てております。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	10	1				・支援後のフィードバックの時間や面談時間を設け、保護者のみなさまと一緒に、お子さまの発達状況について共通理解が持てるよう努めて参ります。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	2			・定期的に行われていません。	・お子さまご家族の皆さまの状況に応じて、面談及び家族支援等で定期的に面談ができるよう努めて参ります。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10				1		・保護者の皆さまのお気持ちに寄り添っていただけるよう努めて参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	4	3		・行われていません。	・ペアレントトレーニング等で、保護者の皆さまが交流できる機会を設けていきます。また、イベントの開催により幅広く交流の機会を検討していただけるよう努めて参ります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	3			1		・粗大運動等の活動もタブレットでご覧いただけるようになり、保護者の皆さまにはご満足いただける声をいただいております。 ・保護者の皆さまからの相談対応の状況に応じて、適切な他機関やサービスのご案内をしております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	1			1		・お子さまや保護者の皆さまの状態に応じて視覚的な情報を活用し、意思疎通・情報伝達を実施しております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2	2			7		・HPで自己評価の公表及びブログ等のSNSで、日々の活動の様子や各種イベントのご案内を掲示し発信しております。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9					2	・個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しております。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っております。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10				1		・各種マニュアルを策定し安全計画に沿って訓練を実施しております。より保護者の皆さまにわかりやすく周知できるよう努めて参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			1		・地震の避難訓練は実施されています。	・防災訓練、自然災害訓練、感染症対策訓練等実施しております。安心して通所していただけるよう努めて参ります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	1			2		・安全計画を策定し各種研修を実施しております。保護者の皆さまには分かりやすく周知できるよう努めて参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8				3	・今まで事故はないので不明です。	・ケガや事故が発生した際には、日報に記録し全職員で原因の究明、改善策の検討、共有を行い、事故を未然に防止できるよう努めて参ります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11						・お子さまや保護者の皆さまが安心できる居場所として感じていただけるよう努めて参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10	1					・お子さまの成長に「楽しい！」は欠かせません。くものいえがお子さまにとって楽しい場所と思っていただけるよう努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	3				・より心の問題に特化した支援を希望します。 ・こどもが通所を楽しみにしており、先生方も娘に対して優しく理解もあり母としても本当に良かったと思います。いつもありがとうございます。	・温かいお言葉ありがとうございます。とても職員の励みになります。これからも皆さまと一緒にお子さまの成長を見守り、そして、くものいえに来てよかったと思っていただけるような事業所を目指し努めて参ります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	くものいえ			公表日	2024 年 11 月 29 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・お子さまの特性に配慮しながら、個別ブースでは落ち着いて取り組める環境を設置したり、広いスペースでは、集団活動を行ったりする等、適切なスペースを確保しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・定められた人数を配置しております。	・職員配置等については、急な欠員により支援に影響がでる場合があるため、今後も可能な限り努力して参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・施設内はお子さまの注意集中のため飾り付け等はせず、極力シンプルな内装や刺激の少ない環境で運営しております。また、療育教材ボックス等をお子さまの目に触れないように工夫しております。	・パーティション等があると支援の幅がより広がることや、バリアフリー等の環境整備も視野に入れ、検討していきたいと思っております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日の清掃、消毒、換気や空気清浄機を活用する等環境衛生に気をつけております。今後も清潔を保ち、皆さまが過ごしやすい環境を引き続き継続して参ります。	・広いスペースに設置してある本棚等、活動時にお子さまの視野に入り妨げになる可能性も見られるため、職員と検討していきたいと思っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・必要に応じて保護者面談や相談室等で利用するなど臨機応変に対応しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・PDCAサイクルに基づき定期的に会議を開催しております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			・検討した結果を職員に周知し、改善につなげられるよう徹底して努めて参ります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・会議等で職員が意見を平等に発言する機会や、面談等を通じて職員の困り事を話せる場を設けております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	○	・年に一回自己評価アンケート(公表)を実施し業務改善につなげております。	・第三者による外部評価は行っておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・法人内で研修システムが設けられており、すべての職員が研修を受講する機会が確保されております。	・外部研修への積極的な参加を検討していきたいと思っております。 ・職員のスキル向上を目指し職員主導の研修会も予定しております。
女生計画に沿った取組に対する保護者	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・公表する支援プログラムに沿って支援を提供しております。	・支援プログラム作成及び公表の準備を進めて参ります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・アセスメントをもとにすべての職員がモニタリング会議に参加し、情報共有に努めております。お子さまの特性や必要な課題について、適宜見直し支援計画に反映させております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・個別支援計画検討会議では、職員が共通理解の下で検討が行われております。また、日々の支援の中でも課題をあげ情報を共有し、多角的な視点で検討が行われております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・アセスメントをもとに長期目標・短期目標・支援内容や継続事項等を確認し支援プログラムを作成しております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・アセスメントでは、表面化されていない背景にも目を向け、お子さまの適応行動の状況等、詳細を記録しております。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・すべての職員がガイドラインを確認し、ねらい及び支援内容を踏まえ支援プログラムを作成しております。	・必要な項目を選択し支援を提供しております。提供した支援内容を具体的に分かりやすく説明できるよう努めて参ります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・個別支援計画書をもとに、目標を統一し支援プログラムを考案しております。	・今後集団プログラムでは、更なるチーム力を発揮できるよう努めて参ります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・継続すべきことを大切にしながら、状況に応じてお子さまが楽しめるような支援内容を提供させていただいております。	・活動プログラムが固定化しないよう努めて参ります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・お子さまのニーズに合わせて個別支援計画書を作成し、状況に応じて個別活動や集団活動を提供させていただいております。	・個別活動や集団活動等、お子さまの状況に応じて対応できるよう努めて参ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝礼時にお子さまの情報共有や部屋割りをしております。また、支援担当以外の職員もチームで連携して支援を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・担当者が次の支援がある場合等、状況に応じて共有できる時間を必ず確保し、気づいた点や引継ぎ事項を共有しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・日々の支援記録及び継続記録用紙に記録する等、情報共有の漏れのないよう徹底し改善に繋げております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・基本的に6か月に1度のアセスメントを通じて見直しを行い、個別支援計画の交付・説明を行っております。	・お子さまの状況に応じて面談の機会を設け、適切な見直し時期の必要性を見極められるよう努めて参ります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・対象のお子さまの情報収集及び状況を理解し、児童発達管理責任者が参加しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・保育所等訪問支援や関係機関連携を通じて、園や保育園等と連携を行っております。	・協力医療機関等以外にも、より幅広く関係機関と連絡・調整ができるよう努めて参ります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・関係機関等の連携の際にはカンファレンスを行い、情報共有及び相互理解を図ることを目的としております。	・カンファレンスの重要性を理解し情報共有及び相互理解を図り、より良い支援に繋げられるよう努めて参ります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保育所等訪問支援や関係機関連携では小学校や支援級と情報共有を行っております。	・今後は移行支援も視野にいれ検討できるよう努めて参ります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・事業所連絡会に参加し、市役所職員から助言や児童発達支援センターや他事業所との意見交換の場を設けております。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			・外部イベント等を通じて更なる地域活動を強化して参ります。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・支援後のフィードバックの時間や家族支援等で共通理解に努めております。	・すべての職員が知識を学び、様々な状況や課題について共通理解を持てるよう努めて参ります。	

保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の提供を今年度から実施する計画を立てております。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・運営規程、利用者負担額について、契約時に重要事項説明書とともに丁寧に説明できるよう努めております。提供する支援プログラムについては、支援終了後に保護者の皆さまへフィードバックの時間を設けております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・アセスメントを実施し、ご家族の意向やお子さまの状況を確認する機会を設けております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・個別支援計画書の交付時に目標及び支援内容等のご説明をしておき、ご了承いただいた後にサインをいただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・ご相談があった際には、早い段階で適切に対応させていただけるよう努めております。また、状況に応じて必要性がある場合はお声がけをさせていただいております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・ペアレントトレーニング等で保護者の皆さまが交流できる機会を設けていきます。また、イベントの開催により幅広く交流の機会が持てるよう努めて参ります。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・保護者の皆さまからの申し出があった場合に、迅速かつ適切に対応できるよう努めております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・HPで自己評価の公表及びブログ等のSNSで、日々の活動の様子や各種イベントのご案内を掲示し発信しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しております。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っております。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・お子さまや保護者の皆さまの状態に応じて視覚的な情報を活用し意思疎通・情報伝達を実施しております。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・各種イベントをご案内しております。	・多くの地域住民の皆さまへくもいへの良さを知っていただけるよう努めて参ります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルを策定し安全計画に沿って訓練を実施しております。	・保護者の皆さまにわかりやすく周知できるよう検討し努めて参ります。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・防災訓練、自然災害訓練、感染症対策訓練等必要な訓練を実施しております。	・今後も安心して通所していただけるよう努めて参ります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・契約時や日々の支援前にも事前に確認しております。	・今後もすべての職員が必須確認事項として努めて参ります。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・医師の指示書はいただいておりますが、アレルギーは確認し把握しております。	・食事の提供をしていないため該当しておりません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画チェックリストで日々確認しております。	・皆さまが安心して通所していただけるよう努めて参ります。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・安全計画の策定を行い、お子さまの安全確保に努めております。	・保護者の皆さまにわかりやすく周知できるよう検討し努めて参ります。
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ケガや事故が発生した際には、日報に記録しすべての職員が原因の究明、改善策の検討、共有を行い、事故を未然に防止できるよう努めております。		

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止委員会を設置しすべての職員が研修会に参加し適切な対応方法を学び実施しております。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・身体拘束適正化委員会を設置しすべての職員が研修を受講しております。	・必要に応じて、身体拘束についてのご説明及び同意をいただいております。